

もくせい通信

木津川市立相楽台小学校

令和8年7月1日（水）

令和8年度 研究主題

主体的・協働的に学ぶ対話学習

～豊かな想いを豊かな言葉で～

6月24日（水）5時間目、3年1組で国語科「まいごのかぎ」の研究授業が行われました。

本単元では、登場人物の気持ちの変化や性格等について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することをめあてに、心情グラフを使ってそれを表現していました。



子どもたちは、それぞれが選んだ絵本グループに分かれ、自分の心情グラフについてペアトークを繰り返し行いました。自分の心情グラフについて説明をし、お互いに疑問点を質問し合いました。同じ叙述でもグラフの動きが違っていたり、着目した叙述が違

っていたりすると、それを通じて、心情グラフを修正していく姿が見られました。

授業の振り返りでは、「視野が広がった。」「違いが分かった。」「自分よりも友だちは細かなところに気を付けて読めていた。」などの意見が出てきました。

授業研究会では、2点の視点で参観したことをグループに分かれて研究討議をしました。

「付箋を使うことで、本文の叙述に立ち返ることができているか」
「ペアでの交流を繰り返すことができているか」

・付箋や心情グラフ（可視化）を用いることで、他者との違いを理解することができていた。

・ペアでの交流が、新たな発見をしたり他者との違いに気付いたりする、学びを深める活動になっていた。



さらにより対話深化させる方法として、話し合いの時に、注目ポイント、何を聞きたいか、考えのずれを事前に意識させてから話し合いをさせる。

・グループでの学習後に、全体で学ぶ交流時間を設ける。

・話すだけでなく、友達の話を聞いて受け止める態度を養う。

という視点が出されました。国語科だけでなく、明日からの授業に生かしていくことを共通認識しました。